

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ松柏

(ユニット名) すだち

記入者(管理者)

氏 名 石田浩之

評価完了日 平成 20年 10月 31日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			・地域の中で、その人らしく暮らしながら人間の尊厳を大切に生きて行く ・家庭的な雰囲気の中で、「ゆっくり、楽しく、いつも一緒に」をモットーとして、自立支援を行うこの2つの理念を作り上げている。		理念を見直し、地域の中で安心してその人らしく暮して行けるよう、自分達の言葉で作り上げて行きたい。
			(外部評価)		
			事業所が地域に根ざし、利用者が地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理室や、食堂、通路など目に付く場所に掲示しており、日々再確認し、理念の実践に向けて努力している。		
			(外部評価)		
			管理者と職員は、掲示されている理念を見ながら、日々理念を実践できているかということを確認されている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関や廊下など目に付く場所に掲示して、機会があれば理念について話をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 隣近所や登下校の中学生と、笑顔で挨拶を交わしている時々、畑で作られた野菜を頂いたりしている。		
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の防災訓練、お祭り、文化祭などに、何らかの形で参加している。又、ホームの夕涼み会を回覧板で知らせ参加していただいた。 (外部評価) 事業所の夕涼み会には、中学校の椅子を貸していただき、多くの地域の方々に参加していただいた。散歩の際、お花をいただき、お礼に利用者がその花を写生して、感謝の気持ちを伝えられた事もある。		
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 中学生の体験学習を積極的に受け入れ、認知症についての理解を広めるよう努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全員で自己評価に取り組み、自分達の行っているケアを見直す良い機会にしている。昨年は自他共に近隣との付き合いが今ひとつ出来ていないと評価したので今年の夕涼み会には回覧板を回し、昨年より多くの方に参加していただいた。その結果、出あった時は向こうから挨拶をしていただけるようになった。 (外部評価) ガイド集を活用され、すべての職員で自己評価に取り組まれた。職員は、日々のケアを振り返り、「利用者個々に合った支援が実践できるよう努力したい」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、地域とのつきあいを深められた。地域の避難訓練に利用者と職員で参加されたり、事業所の夕涼み会時には、地域の多くの人達の参加をいただいた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。そのとき に出た意見は全員で検討し、サービス向上に努めている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議を「ちょっと寄って話さん会」と名付 け、気軽に参加いただき、意見をいただける会にした いと考えておられる。会議の内容や情報は、すべての 職員に伝達し、ケアサービスの向上に活かせるよう取 り組まれている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			市主催の研修や講座が多く開かれており、順次参加し て知識を深めている。又、参加していないスタッフに 伝えサービスの質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			市主催の研修会への参加や、市の「八幡浜市認知症高 齢者どこにいるの？ネットワーク事業」等に協力され ている。管理者は、電子メールで、市の担当者ややり 取りをされ、現状報告や運営上の質問等をされてい る。毎月、さわやか相談員を受け入れておられる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			権利擁護に関する研修に参加し、スタッフ会で研修報 告をしているが、今のところ、必要としている人はい ない。制度そのものが難しく、理解しているとはいえ ない。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待についての研修に順次参加し、スタッフ会で報告 することにより全員の認識を高めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者は、契約をする際には十分な説明を行い、家族よりの疑問・質問には丁寧に対応しているが、他の職員は関わる事はない。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者に不満、苦情があれば納得のいくまで話を聞き対応している。苦情相談内容記録表を作成しており、苦情などがある場合は記録し、話し合い、運営に反映させるようにしている。月に1回相談員が来所し話を聞いている。		
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 2ヶ月に1回新聞を発行し、届けている。又、特に健康面で変化があった場合は、請求書送付などの際に状況を手紙に書いて同封したり、電話で知らせている。 (外部評価) 事業所新聞では、利用者の暮らしぶりや行事等が報告されている。ご家族の来訪時には、ご本人の暮らしぶりや健康状態等についても報告をされている。		職員の入れ替わりについて、ご家族は、「利用者への影響が不安」というような心情を持っていることもあるのではないだろうか。新しい職員の紹介や利用者へのダメージを抑える支援、離職や異動をなくす取り組み等についてもご家族へ伝え、ご家族の不安の解消に努めていかれてほしい。
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 敬老会、クリスマス会等行事の後に家族会を開き、苦情・意見等を聞くようにしている。家族からの意見等があった場合は、スタッフ会や申し送りの際に話し合い、運営に反映させている。 (外部評価) 家族会を、敬老会やクリスマス会等、行事の後に開催されている。現在は、ほとんど意見は出ないようである。		さらに、ご家族に事業所の取り組みを具体的に知っていただき、ご意見や要望を出していただけるよう、働きかけをすすめていかれてほしい。家族会開催の工夫や雰囲気作り、ご意見をいただいた際、その後の取り組み等を知らせていかれることも期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			月に1度のスタッフ会や、半年に1度の面接の際、意見や提案を聞き反映させている。又、毎日の業務の中で意見があればよく聞き対応している。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			利用者のペースに合わせたローテーションを組んでいるが、職員の数に限りがあり、十分な対応はできていないと思う。		職員の数を確保し、入浴や外出など柔軟な対応をしていきたいと思う。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			個々の事情により離職者が多かったため、職員の変化に利用者はなかなか馴染めなかったと思うが、残っている職員でダメージを少なくするよう精いっぱい努めていると思う。		せめて異動はなくしてもらおうよう要望を出していきたいと思う。
			(外部評価)		
			職員の異動や離職があった場合、利用者へのダメージを抑えられるよう、職員は、利用者への声掛けや対応に気を配っておられる。又、両ユニット同士で職員が助け合ったり、月1回、両ユニット合同の行事を行い、利用者、職員が交流できるよう取り組まれている。		事業所では、職員が異動することで利用者に及ぼす影響について、法人を含めて話し合いを行いたいと考えておられた。又、ご家族の不安等へも配慮した、積極的な取り組みが期待される。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			法人内外の様々な研修を順次受けており、その報告をスタッフ会で行い、学んだことを全員に伝えるようにしている。		勤務調整をして、今後もスタッフ全員がいろいろな研修に順次参加できるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			職員は、市や県GH協議会等が開催する外部研修や法人内の研修を受講され、受講後、内容をスタッフ会で報告するようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			運営推進会議に相互に参加することや、市主催の研修に参加することで、他のGHと交流する機会があり、意見を交換している。		
			(外部評価)		
			市主催のグループホーム連絡会で同業者と情報交換されたり、法人内のグループホーム同士でも交流がある。また、運営推進会議は、地域の他のグループホームと相互に出席し合っておられる。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			年に1度リフレッシュ休暇を取るようにしている。又、忘年会や市の秋祭りの行事に参加し、気分転換を図っている。		現場の勤務状況をきちんと伝え、知ってもらいたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			年に2回能力開発カードで個々の目標、実績などを把握できるようにしている。又、資格を取得することにより雇用形態の変更をしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前に機会があれば本人に会い話を聞いたり、サマリーなどで情報を得ている。又、関わっていく中で本人の不安なこと、求めていることをゆっくりと聞くように努めている。		今以上に、利用者の話をよく聞き、気持ちの伝わる関係作りをしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に見学する機会や、話をする機会を作っている。困っていること、不安なことがあった時は話を聞き、どのような対応が出来るか一緒に考えている。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要としている支援を見極めているとは思わないが、他のサービス利用について必要があればお話ししている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前に、本人や家族に見学に来ていただいている。又、少しずつ慣れていただくよう声掛けをしたり、ゆっくりと話を聞いたりしている。 (外部評価) 利用前に、ご家族に見学していただいたり、職員が、ご本人を訪ね、ゆっくりお話をし事業所の様子を知っていただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 昔ながらの漬物や梅干しなどの作り方を、教わりながら一緒に作っており、他にもいろいろな場面で生活の知恵を教えてもらっている。 (外部評価) 職員は、利用者から、お若い頃の暮らしぶりやしきたり、戦争の経験談等を教えていただいたり、漬物や郷土料理の作り方等を教えていただくこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の暮らしの出来事や気付の情報を共有しつつ、うまく関係を続けている家族もあれば、まだうまく関係を気付いていない家族もある。		
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事を行う際には案内状を出し、参加してもらったり、自由にホームに来ていただき、本人の部屋でゆっくりと過ごしていただくようにしている。		
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個々のなじみの場所に出かけていくことは、スタッフの数や本人の体力を考慮するとなかなか難しいが、馴染みの人に自由にきていただけるような雰囲気作りは心がけている。		希望があれば、それぞれの馴染みの場所へ順番に出かけられるよう計画したい。
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者それぞれの性格を把握し、うまく関わりあえるよう気を配ってはいるが、難しい場面も多い。		
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 関係を断ち切るつもりはないが、1度退去されると関わることは今のところない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			思いや意向の把握に努めてはいるが、本当の気持ちを引き出すことは難しい。		もっとゆっくりと話をして信頼関係を築き、希望や思いを聴きだせるよう努めていきたい。
			(外部評価)		
			職員は、センター方式の様式を用いて情報収集に努めておられ、日々、利用者が話すお若い頃のお話や趣味のこと、ご家族の話等をきっかけに思いや意向を探っておられる。		
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時には家族に生活歴や生活環境、サービス利用の経緯等をシートに書き込んでもらい、把握するようにしている。		
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの生活のリズムを理解し、会話や行動の中から現状の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			スタッフ会で話し合い、作成しているが、本人や家族との話し合いは十分にできていないと思う。		計画作成前には本人とよく話し合ったり、家族が来所された時には意見を聞き、計画を作成していきたい。
			(外部評価)		
			入居時に、利用者ご本人が、どのように暮らしたいかという要望を出していただいている。又、利用者やご家族の意見を踏まえて、職員で話し合い、計画を作成されている。		管理者は、ご家族と話し合い、要望や意見を聞き取り、計画に反映していきたいと考えておられる。さらに、本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、いろいろなアイデアや意見を反映した計画の作成が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			毎月プランの評価を行い、3ヶ月に1度はプランの見直 しをしている。又、入院や状態に変化があった場合に も見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、毎月のスタッフ会議で評価を行い、3ヶ 月毎の見直しをされている。又、状態変化時等には、 その都度話し合い、新しい計画を作成されている。		又、計画の評価等についてもご家族に伝え、具体的 なご意見をいただいてはどうだろうか。
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			日々の様子やケアの実践を記入し、申し送りなどで情 報を共有しているが、気づきや工夫に関しての記録が できていない。		気づきや工夫に関しての記録をとるようにしたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			本人・家族の状況に応じて通院や送迎などを行って いる。		
			(外部評価)		
			ドライブや外出行事の際、利用者の自宅を見て帰るこ ともある。職員と共に毎週、図書館に本を借りに出か ける方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて、地域の婦人会、ボランティア、消防署、公民館、中学校等と協力しながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスを利用するための支援は惜しまないが、今のところ他のサービスを利用したいとの意向はない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 権利擁護を必要としている方は特にいないが、研修には参加している。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ホームの主治医のほかに、利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、ご家族と協力し通院介助を行っている。往診に来てもらうこともあり、様々の医療機関と関係を結んでいる。		
			(外部評価) 主治医と連絡を取り合い連携を図っておられる。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 母体の病院の医師に相談、診断、治療を受けられるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価)		
			月に2回母体の病院より看護師が来所し、相談、健康管理医療活用の支援をしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価)		
			入院時は基本情報により、本人に関する情報を医療機関に提供している。又、見舞いに行ったり、医療機関より回復状況などの情報を得ている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価)		
			入居時、重度化や終末期に向けた方針について説明している。		
			(外部評価)		
		入居時、重度化や終末期の事業所の対応について、法人内の病院や施設等と連携を図り、対応していくことを説明されている。		さらに、利用者一人ひとりの重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人やご家族の思いや希望・要望等も聞き取りながら、話し合うような機会も設けてはどうだろうか。	
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価)		
			重度や終末期の利用者は今のところいない。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価)		
			この1年他の施設へ移られた方はいないが、移る方があるとすれば基本情報を提供し、ダメージを極力防ぐよう努める。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。個人記録の閲覧や、入室の必要がある場合は、許可を得ている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の居室への入室やトイレ誘導時の声かけ等、利用者個々のプライバシーに配慮されている。		
51		○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			押し付けるようなことはせず、一人ひとりの利用者が自分で決める場面を作っている。		
52	21	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースを大切に、利用者の希望に沿って支援したいのはやまやまであるが、実際問題難しい。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、昼食後に、テレビを見て過ごす方や居室で横になる方、居室で水彩画を描いている方等があられた。又、おやつを買いに近くの商店に出かけたり、散歩に行かれる方もうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 着たい洋服を選んでいただいたり、希望の理容・美容室へ行っていただいている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節のものや食べたいものをメニューに取り入れるようにしている。食事の下ごしらえや後片付けなどできる範囲で一緒に行っている。		
			(外部評価) 事業所で食事作りをされており、利用者は野菜の下ごしらえをされたり、調査訪問時には、食事の配膳や盛り付け、お茶の用意、又、食後は、テーブルやお膳を拭いておられる様子もうかがえた。食材には、季節の野菜や果物が採り入れられており、話題となっていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 誕生日、お祭りなど、特別な日にはお酒を出し、楽しんでいただいている。又、手作りのオヤツを作り皆で味わっている。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で一人ひとりの排泄パターンを把握し、なるべくトイレで排泄できるよう支援している。排便に関しては薬に頼りすぎているような気がする。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			介助が必要な方に希望の時間に入浴してもらうことは難しいが、特別介助の必要がない方には、希望があれば毎日でも夕方入浴していただいている		
			(外部評価)		
			週2回の入浴となっているが、中には、毎日に入浴されている方もいる。2階ユニットでは、夕方に入浴される方もいる。		さらに、利用者個々が入浴を楽しむことができるような工夫を重ねていかれてほしい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) なるべく日中活動していただき、生活のリズムを整えるようにしている。又、その日の体調に応じて休息、就寝できるよう配慮している。 気持ちよく休んでいただけるよう、常に居室を清潔に保っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人ひとりにあった役割を決めたり、その方の得意な作業をしていただいている。塗り絵・貼り絵その他趣味の作品をいろいろと作っていただいているが、興味の無い方へどういった楽しみを提供できるか模索中。		午前中は作品作り、午後は体を動かすレクリエーションを行い、それぞれに楽しみを提供していきたい。
			(外部評価)		
			食事のメニューを書いてくださる方や、食事の際、「いただきます」と代表で挨拶をしてくださる方もいる。又、水彩画、写経、読書、ジグソーパズル、将棋等それぞれに楽しい時間を過ごせるよう支援されている。時には、ベランダで食事されたり、外食やドライブに出かけることもある。事業所の敬老会や行事時に、日本舞踊を披露される方もいる。毎週パン屋さんが来てくれるようになっており、好きなパンを選んで朝食やおやつに食べておられる。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 外出時は自由に買物が出来るよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			車椅子の方が多く、なかなか希望に沿った外出が出来ないが、天気が良くスタッフの数が多いときには、散歩やドライブなど戸外に出るようにしている。		
			(外部評価)		
		お花見や紅葉狩り等、季節を感じに出かけておられる。		職員の勤務状態も整ったようで、今後は、日常的に散歩等にも出かけたいと考えておられた。さらに、地域資源を活用しながら、利用者の生活を広げていかれてほしい。	
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			春や秋の過ごしやすい季節には、月に1度希望を聞きながら外出を計画し実施している。		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に応じ、日常的に電話や手紙を出せるよう支援している。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			なじみの方達が来所した際には、挨拶をしたり気軽な会話をし、自由にゆっくりと過ごしていただけるような雰囲気作りを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアに取り組んでおり、順次研修に参加することで意識は高まっていると思う。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間以外、鍵をかけることはない。 (外部評価) 玄関を出入りするとチャイムが鳴るようになっている。すべての職員が、鍵をかけることでの弊害を理解されており、利用者個々に目配り・気配りに心がけ、鍵をかけないケアを実践されている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中部屋で過ごすことが多い方に関しては、時々様子を見に行くようにしている。リビングにおられる方の様子は常に職員が把握する様心がけている。夜間2時間毎に見回りを行い、変化があるようであれば、その都度気をつけて見守りをしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 毎日様子を見ていく中で、状況に応じて対応している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 各自研修に参加し、いろいろな知識を学んでいる。又、ひやりハットなどがあつた際はきちんと記録をし、対応策を話し合い、再発防止に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当や蘇生術の研修に参加したり、緊急時の対応マニュアルを作成し、いつでも見ることができるよう壁に貼り出している。		急変時はあわてて、なにも出来なくなる不安があるので、定期的に訓練を行いたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に2回、消防署の協力を得て避難訓練、消火器の使い方など訓練している。 (外部評価) 消防署の協力を得て、定期的に避難訓練を行っておられ、避難経路を数カ所に掲示されていた。地域の自主防災訓練にも利用者と共に参加し、習った救助方法を取り入れて事業所でも訓練が行われた。		地域の防災訓練などに参加することでかわりを持ち、いざというとき協力して頂けるような関係を作りたい。 2階ユニットでは、現在、車いすを利用されている方が多く、職員は夜間の避難に不安な点もあるようだ。事業所では、今後も、地域の防災訓練等を通して、近隣の方々に協力いただけるよう、続けてお願いをしていきたいと考えておられた。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) まず職員間で話し合いを行い、必要があれば家族と話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行い様子を観察し、変化や異変に気付いた際は、速やかに主治医に報告し指示を受けている。又、記録をとり申し送りなどで情報を共有している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬情報をファイルしており、目的・副作用・用量・用法などを把握できるようにしているが、必ずしも理解しているとはいえない。		使用している薬についての知識を増やし、副作用についても理解できるようにしたい。
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給に努めたり、日中体を動かしていただくことにより、自然排便できるよう支援しているが、便秘気味の方が多く、薬に頼りすぎているように思う。		一人ひとりの排便パターンを知り、なるべく薬に頼らないようにしたい。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声掛けをし、見守りや介助を行っている。週に1度は薬剤にて義歯の洗浄を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量のチェックを行い、食事量が少なく体調変化等が見られた際は、主治医に報告し指示を受けている。決まった時間や、要望があった際には水分補給をしていただいている。必要と思われる方には自室にお茶を用意している。		
			(外部評価) 職員は、野菜中心のうす味の食事作りを心がけて、メニューを考えておられる。食事の際には、食べていただけるように声掛けされたり、好みの味になるように食卓に調味料が用意されていた。水分確保には、食事の際のお茶のおかわりを声掛けされたり、居室でも水分補給が出来るように、ペットボトルにお茶を入れて用意されている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症予防マニュアルを作成し、食事やオヤツ前の手洗いの励行、ペーパータオルの使用など予防に努めている。インフルエンザ予防接種を職員ともども受けるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板やふきんなどは毎日漂白殺菌し、冷蔵庫内もこまめに点検。食材の鮮度に気をつけて、食中毒予防に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
80		○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節の花を植えたり、座って話が出来るようベンチを置いている。		
81	29	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングや廊下の壁には季節感のある利用者の作品を飾ったり、行事や日頃の様子を撮った写真をアレンジして貼り出しており、自分達の居場所であることを感じてもらうようにしている。 (外部評価) 居間には、季節の花が飾られ、日めくりカレンダーや、昔懐かしい柱時計、神棚があった。又、習字やジグソーパズル、折り紙等、利用者の作品、行事時の写真や職員の似顔絵等も飾られていた。廊下にイスを配置されていた。		
82		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 一人ひとり自分の気に入りの場所があり、他の方はそれを解っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			なじみのタンスやその人に会った装飾品を飾っているが、まだまだ本人の使い慣れたものが少ないと思う。		家族や本人と相談しながら、本人が居心地よく過ごせる居室作りを行いたい。
			(外部評価)		
			ご本人の使い慣れたタンスや机、椅子、テレビ、将棋、大正琴等を持ち込まれており、ご家族の写真やご自分で作られた作品も飾られていた。滑り止めマットやポータブルトイレの設置等、利用者個々の状態に合わせしつらえを考えておられる。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎朝起床時は窓を開け、換気に努めている。温度調節もこまめに行い、利用者の体調に気を配っている。		
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下・リビング・風呂・トイレ・玄関それぞれに手すりを取り付け、玄関までは緩やかなスロープになっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各部屋の入口には、名前を入れたり何かわかりやすい目印をつけている。トイレには目を引くように花の飾りをつけたり、風呂には「湯」の暖簾をかけている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			2階には外気浴を楽しめるようなベランダがないため、1階まで降り、玄関前の広場でランチを楽しんだり、日向ぼっこをしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員は出来るだけ利用者の思いや願いをかなえてあげようとしており、情報があれば皆で話し合っている。
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後やおやつ時には、利用者と職員と一緒に談話し、ゆっくりと過ごしている。
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日の内数時間は皆で体操をしたりレクリエーションや作業を行っているが、それ以外の時間は、各自が思い思いの場所で自由に過ごしている。
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	好きな作業をしていただいたり会話していると、表情よく笑顔が見られるが、あまり関わることを好まない方もいる。
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフの人数、気候、利用者の体調に左右されてなかなか出かけることが出来ない。
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝バイタルチェックや表情など様子観察を行い、変化があれば主治医に報告し指示を仰いでいる。定期的に主治医に診てもらっており、連携をとっている看護師も月に数回来所し相談にのってくれている。安全面でも問題があれば皆で話し合い解決している。
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	安心して暮せるよう気を配っているが、目の行き届かない部分があると思う。
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来所時には利用者の様子などを伝え、家族の意向があればお聞きして、出来る限りの支援をしている。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	敬老会や夕涼み会、クリスマス会等の行事に参加していただいている。中学生や相談員・ボランティアの方にもときどき着ていただいている。

(自己評価)

特定非営利活動法人 JMACS